

令和5年度の重点課題

○「新体力テスト」の結果から「反復横跳び」に課題がある。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○業間に「マラソン」や「縄跳び」を実施し、個々に目標を持たせ、毎回記録を確認させ取り組む。

令和5年度新体力テストの結果（県平均値（平成31年度）・全国平均値（平成30年度）との比較）

*全校児童が比較できる最も新しいデーター

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
	第1学年	7.60	13.60	25.46	27.00	23.80	12.14	113.00	8.40		30.20	第1学年	9.00	5.00	22.30	24.00	23.00	12.80	115.00
第2学年	9.67	15.00	29.67	28.67	30.33	10.43	120.67	13.67	37.67	第2学年	9.38	15.38	34.13	26.50	19.88	11.59	107.25	6.00	35.50
第3学年	13.00	20.67	28.33	38.67	36.67	10.17	146.67	13.33	47.00	第3学年	11.56	15.67	29.22	31.56	24.88	11.04	124.56	8.67	40.13
第4学年	14.50	18.33	30.83	47.33	33.50	10.27	125.50	18.67	47.50	第4学年	16.50	21.25	33.75	43.50	45.25	9.85	143.00	15.00	57.75
第5学年	14.33	22.33	35.00	50.00	48.33	9.14	148.00	25.67	56.67	第5学年	14.00	19.50	39.00	42.50	43.00	9.17	150.50	15.50	58.00
第6学年	17.29	21.29	43.00	50.57	52.43	9.32	163.86	29.86	60.71	第6学年	17.67	19.33	45.67	45.67	36.67	9.03	166.33	16.00	63.67

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題

○新体力テストの結果から、
①握力②シャトルラン
この項目を重点課題とする。

重点課題に対応した改善のための取組内容及び方法

- 課題改善の取組として、
 - ①日常的に意識させる取り組みを入れる。（掃除の時は机を持ち上げるなど）
 - ②業間に「シャトルラン」「握力」の取り組みを取り入れ、日常化を図る。
 - ③校舎内・教室内に運動コーナーを設ける。
 - ④長期休業を含めて、家庭でも可能な取組を工夫する。
- 成長の実感のための方法として、
 - ①個人目標を設定するとともに、定期的に測定し、児童自身が進捗を確認する。
 - ②個人内の伸びの見える化を図る。
 - ③取組の工夫や進捗等の情報を共有し、学期ごとに検証をするとともに、その都度、指導方法の工夫改善を図り、児童の成長の実感につなげる。

令和6年度の目標値

- 重点課題において、県平均を上回る児童の割合60%以上とする。
- 重点課題において、県平均を下回る児童に対し、年間の伸び率が5ポイント以上となる児童の割合60%とする。